

シート3:相談記入シート 記入方法

※相談記入シートV2.1からV2.2への変更点は赤字部分です

*必須項目

1.受付日/受付番号*			
2.相談時間(分)			
3.相談員	●氏名(必須選択)*2*		
4.相談形式	●場所*	01.院内 02.院外(出張相談など)	
	●方法*	01.対面相談 02.電話相談	
		03.FAX相談 04.E-mail相談	
		99.その他(以下に具体的内容を記入)	
5-1.相談者	●相談者のカテゴリー*	01.患者本人のみ 02.患者とその付き添い	
		03.患者以外の方のみ	
		88.不明、その他	
	●利用回数	01.初めて 02.2回目以上	
		88.不明	
	●担当医からの紹介	紹介 あり なし	
	●相談支援センターに関する情報入手経路(複数選択可)	01.担当医	
		02.その他の医療・福祉関係者	
		02-01.その他の医療・福祉関係者(院内) 02-02.その他の医療・福祉関係者(院外)	
		03.家族・友人・知人 04.同病者やその家族・患者会	
		05.パンフレット・紹介カード 06.インターネット	
		07.院内掲示	
		88.不明	
		99.その他(以下に具体的内容を記入)	
	5-2.患者以外の主たる相談者	●主たる相談者のカテゴリー	01.家族・親戚 02.友人・知人
03.一般			
04.医療・福祉関係者(院内) 05.医療・福祉関係者(院外)			
88.不明			
99.その他(以下に具体的内容を記入)			
●氏名(任意記入)			
●年齢(歳)		01.20歳未満 02.20歳代	
		03.30歳代 04.40歳代	
		05.50歳代 06.60歳代	
		07.70歳代 08.80歳以上	
	88.不明		
	←年齢を記入(任意記入)		
	←		
●性別	01.男 02.女		
	88.不明		
6.患者本人の状況	●氏名(任意記入)		
	●年齢(歳)	01.20歳未満 02.20歳代	
		01-01.1-14歳	
		01-02.15-19歳	
		03.30歳代 04.40歳代	
		05.50歳代 06.60歳代	
		07.70歳代 08.80歳以上	

← E-mail等の場合は入力しなくてよい

← 医療者、福祉職、社労士等からの相談は「88.不明、その他」として選択

← 相談者本人の申告にかかわらず、相談履歴があれば数年ぶりでも「02.2回目以上」を選択

← ●下位項目について
 本項目の「02-02」の「-02」のように、枝番号のついた項目は「下位項目」です。必ずしも使用いただく必要はありません。細かく分類したい場合にご使用ください
 ただし、下位項目にチェックをした場合には、親項目の「02」にもチェックを入れてください。

← 任意入力

← 任意入力

← 任意入力

← 任意入力

← 小児がん経験者の場合は、記録の目的に応じて小児用の記入シートを使用するかどうか、ご判断ください(がん種の違いが大きい)。

← AYA世代として分類、集計したい場合にご使用ください。

シート3:相談記入シート 記入方法

※相談記入シートV2.1からV2.2への変更点は赤字部分です

*必須項目

	88.不明	
		←年齢を記入(任意記入)
●性別	01.男	02.女
	88.不明	
●受診状況	01.自施設入院中	02.自施設通院中
		←IDを記入(任意記入)
	03.他施設入院中	04.他施設通院中
	05.受診医療機関なし	
	88.不明	
	99.その他(以下に具体的内容を記入)	
●現在の治療状況	01.診断なし(精査中含む)	02.治療前(診断後精査中含む)
	03.治療中	04.治療後(概ね治療3ヶ月未満)
	05.経過観察中(概ね治療3ヶ月以降)	06.緩和ケアのみ
	88.不明	91.死亡
	99.その他(以下に具体的内容を記入)	
●がんの状況	01.初発	02.再発・転移
	88.不明	
	99.その他(以下に具体的内容を記入)	
●がんの部位*3 (複数選択可 および一つのみ選択) ⇒1つまたは2つまで選択	該当するすべてに✓	本相談において最も比重の高いもの1つに✓
	01.眼・脳・神経	
	02.耳鼻咽喉・口腔	
	03.胃	
	04.食道	
	05.大腸	
	06.小腸・肛門	
	07.肝・胆	
	08.膵	
	09.肺	
	10.縦隔・心臓	
	11.乳房	
	12.卵巣・膣・外陰部	
	13.子宮	
	14.精巣	
	15.前立腺	
	16.腎・尿管・膀胱	
	17.甲状腺	
	18.副腎	
	19.血液・リンパ	
	19-01.成人T細胞白血病(ATL)	
	19-99.その他	
	20.皮膚	
	21.骨・軟部組織	

← 訪問診療を受けている場合は「04.他施設通院中」を選択

← 主な相談内容における治療状況を選択する。
術後で補助療法前は「03.治療中」を選択、経過観察中で再発の疑いがある状況の場合は「05.経過観察中」を選択

← *緩和ケアのみ：緩和ケアのみを行なっている場合に選択する。積極的治療と同時に進行している場合には選択しない。

← ▲初発で転移がある場合は「01.初発」を選択

* ()はICD10分類 本相談において最も比重の高いもの1つまたは2つまで✓

← (眼・髄膜・脳・脊髄・中枢神経/C69-C72)

← (口唇・舌根・舌・歯肉・口腔底・口蓋・耳下腺・大唾液腺・扁桃・中咽頭・上咽頭・梨状陥凹・下咽頭/C00-C14) (鼻腔・中耳・副鼻腔・喉頭/C30-C32)

← (胃/C16)

← (食道/C15)

← (結腸・直腸S状結腸移行部・直腸/C18-C20)

← (小腸・肛門・肛門管/C17,C21)

← (肝・肝内胆管・胆嚢・胆道・**ファーター乳頭**/C22-C24)

← (膵/C25)

← (気管・気管支・肺/C33-C36)

← (胸腺・心臓・縦隔・胸膜/C37-C39)

← (乳房/C50)

← (外陰部・膣・卵巣・胎盤/C51,C52,C56-C58)

← (子宮頸部・子宮体部・子宮/C53-C55)

← (陰茎・精巣/C60,C62,C63)

← (前立腺/C61)

← (腎・腎盂・尿管・膀胱/C64-C68)

← (甲状腺/C73)

← (副腎・内分泌腺/C74,C75)

← (リンパ・造血組織/C81-C96)

← (皮膚/C43-C44)

← (骨・関節軟骨/C40-C41) (カボジ肉腫・末梢神経・自律神経/C46-C47,C49)

シート3:相談記入シート 記入方法

※相談記入シートV2.1からV2.2への変更点は赤字部分です

7.相談者からの相談内容	●分類 (複数選択可 および一つのみ選択) ⇒1つまたは複数選択)	22.後腹膜・腹膜	
		23.中皮腫	
		24.原発不明	
		71.希少がん	
		81.診断なし	
		88.不明	
		99.その他(以下に具体的内容を記入)	
		実施したすべてに✓	最も比重の高いもの1つに✓
		01.がんの治療	
		01-01.手術	
		01-02.放射線治療	
		01-03.薬物治療	
		01-04.免疫療法	
		01-05.ゲノム医療	
		01-99.その他	
		02.がんの検査	
		03.症状・副作用・後遺症	
		03-01.妊孕性・生殖機能	
		03-02.アピアランス	
		03-03.晩期合併症	
		03-04.長期フォローアップ	
		03-99.その他	
		04.セカンドオピニオン(一般)	
		05.セカンドオピニオン(受入)	
		06.セカンドオピニオン(他へ紹介)	
		07.治療実績	
		08.臨床試験・先進医療	
		09.受診方法・入院	
		10.転院	
		11.医療機関の紹介	
		12.がん予防・検診	
		13.在宅医療	
		14.ホスピス・緩和ケア	
		15.食事・服薬・入浴・運動・外出など	
		16.介護・看護・養育	
		16-01.介護	

*必須項目

←	(後腹膜・腹膜/C48)
←	(中皮腫/C45)
←	(原発不明/C76-C80)
←	希少がんと判断する場合には、部位に加えて選択する。希少がんか否かの判断はこちらを参照 https://www.ncc.go.jp/jp/rcc/about/index.html
←	がん以外(がんの診断未)も含める。
←	▲上記の部位で分類できない場合(十二指腸、胃・食道接合部など)や組織型が重要な場合(神経内分泌腫瘍など)はこちらを選択
←	終了時に、対応した相談員が相談の中心的内容を判断し選択
←	薬物療法でもある場合は両方選択する。
←	血液検査や画像データの見方に関する相談を含む
←	長期にわたる副作用の相談も「03.症状・副作用…」を選択
←	「セカンドオピニオンとはどのようなことか」など、セカンドオピニオン一般に関する相談に対応した場合に選択。
←	相談員が所属する施設(自施設)で実施されているセカンドオピニオンに関する相談に対応した場合に選択。
←	他施設で実施されているセカンドオピニオンに関する相談に対応した場合に選択。
←	特定の部位の症例数、特定の治療法・術式の実施状況についての相談に対応した場合に選択。
←	受診までの流れ・予約方法・診療科・入院・入院生活などについての相談に対応した場合に選択。
←	治療・療養の場の変更に関する相談に対応した場合に選択。転医を含む
←	どこの医療機関で、治療・ケア・療養が受けられるか等の相談に対応した場合に選択。
←	在宅医療、施設入所の相談の場合に「13.在宅医療」を選択
←	ホスピス・緩和ケアの提供を受けるには、その実際についてなど「ホスピス・緩和ケア」についての相談に対応した場合に選択。
←	生活全般に関する相談の場合も「15.食事・服薬…」を選択
←	がんを抱えての親や子どもなどの「介護・看護・養育」などについての相談に対応した場合に選択。

シート3:相談記入シート 記入方法

※相談記入シートV2.1からV2.2への変更点は赤字部分です

*必須項目

	16-02.看護		
	16-03.養育		
	17.社会生活(就労・仕事・就学・学業)		
	17-01.就労		
	17-02.治療と仕事の両立		
	17-03.就学・就園		
	17-04.学業・学校生活		
	18.医療費・生活費・社会保障制度		
	18-01.介護保険		
	18-02.傷病手当		
	18-99.その他		
	19.補完代替療法		
	20.生きがい・価値観		
	21.不安・精神的苦痛		
	22.告知		
	23.医療者との関係・コミュニケーション		
	24.患者・家族間の関係・コミュニケーション		
	25.友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション		
	26.患者会・家族会(ピア情報)		
	27.グリーフケア		
88.不明			
99.その他(以下に具体的な内容を記入)			
●内容(任意記入)			
8.対応内容	●分類(複数選択可および一つのみ選択)	実施したすべてに✓	最も比重の高いもの1つに✓
	01.傾聴・語りの促進・支援的な対応		
	02.助言・提案		
	03.情報提供		
	04.自施設受診の説明		
	05.他施設受診の説明		
	06.自施設他部門への連携		
	07.他施設への連携		
	08.ピアサポート機能の紹介		
	81.苦情・要望への対応		
	88.判断不明		
	99.その他(以下に具体的な内容を記入)		
	●内容(任意記入)		
	9.相談者からの反応	●相談支援センターを利用したことに対する反応	01.よい反応だった
03.悪い反応があった			
88.判断不明			
99.その他(以下に具体的な内容を記入)			

← 医療費・生活費への不安、高額療養費は「18-99.その他」を選択

← ACPも含む

← がんに伴い生じる漠然とした不安や、強い精神的苦痛に関する相談の場合に選択。

← 同じような状況の人と話してみたいなど「ピア情報」(患者会・家族会やNPO、セミナー等)についての相談に対応した場合に選択。

← がんの原因や食事との関連、がんの冊子の希望、相談支援センターの機能に関する質問等、他の分類に該当しない場合に選択

← 傾聴、支援的対応は全ての相談の基盤である。「01.」は積極的な情報提供や説明をせずに、傾聴、語りの促進・支援的な対応が主だった場合に選択

← 医学的、心理社会的な内容等、何らかの情報提供を行った場合に選択。

← 自施設の他部門に紹介するなど、他部門との連携を図った場合に選択。

← 参考までに、相談員の主観でよいので選択

シート3:相談記入シート 記入方法

※相談記入シートV2.1からV2.2への変更点は赤字部分です

*必須項目

	●相談支援センターの今後の活動についての要望 (任意記入)	
10.当該相談に関連する診療報酬算定の有無 (該当時のみ)	入院基本料等加算 入退院支援加算	あり なし
	その他の診療報酬の算定	あり なし

←

←

「相談記入シート」記入の際の留意点 より	
「退院支援加算」や「その他の診療報酬の加算*」がある相談	任意記入 記入の際には、「10.当該相談についての加算の有無（該当時のみ）」の項も記入する。 *「シート4_参考_その他の診療報酬」参照

シート3:相談記入シート 記入方法

※相談記入シートV2.1から**V2.2**への変更点は赤字部分です

***必須項目**

11.施設自由使用欄 (テキスト記入)	項目1(任意記入)	
	項目2(任意記入)	
	項目3(任意記入)	1.選択01 3.選択03 5.選択05 2.選択02 4.選択04 6.選択06
	項目4(任意記入)	
	項目5(任意記入)	
12.通信欄	項目1(任意記入)	
	項目2(任意記入)	
	項目3(任意記入)	
	項目4(任意記入)	
	項目5(任意記入)	

シート5: 参考 その他の診療報酬

シート3: 参考 「7.当該相談についての加算の有無_その他の診療報酬の算定」の例

※各項目で「本人の同意」の記載は、前提として割愛しています
 ※また、「医師の指示」の記載も同様に割愛しています

	項目番号	枝番号	分類	項目名	点数(概略)	算定シナリオ・説明
6.医学管理等	B001		特定疾患治療管理料 23	がん患者指導管理料	500 看護師または公認心理師単独の場合 200	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員としておこなった対応について「がん患者指導管理料」を算定する場合
	B001		特定疾患治療管理料 13	在宅療養指導料	170	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員としておこなった対応について「在宅療養指導料」を算定する場合
	B001	7		リンパ浮腫指導管理料	100	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員としておこなった対応について「リンパ浮腫指導管理料」を算定する場合
	B001	9		療養・就労両立支援指導料	初回 800(696) 2回目以降 400(348) 相談支援加算 50 ※括弧内は情報機器を用いて行った場合	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員としておこなった対応について療養・就労両立支援指導料を算定する場合 ※相談支援加算は、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理士が相談支援を行った場合に算定
	B003			開放型病院共同指導料(Ⅱ)	220	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員として調整し、共同指導が行われ、「開放型病院共同指導料(Ⅱ)」を算定する場合
	B005			退院時共同指導料2	400 2000/300加算あり	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員として調整し、共同指導が行われ、「退院時共同指導料2」を算定する場合
	B005	1 2		介護支援等連携指導料	400	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員として(院内スタッフと共に/連携して/調整して)、ケアマネジャー等の対応を行い「介護支援連携指導料」を算定する場合
	B005	1 3		介護保険リハビリテーション移行支援料	500	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員として(院内スタッフと共に/連携して/調整して)、ケアマネジャー、サービス提供事業者等の対応を行い「介護保険リハビリテーション移行支援料」を算定する場合
	B005	6		がん治療連携計画策定料	750/300	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員として(院内スタッフと共に/連携して/調整して)、がん地域連携バスを説明、調整して導入し、「がん治療連携計画策定料」を算定する場合
	B006	3		退院時リハビリテーション指導料	300	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員として院内スタッフと共に、「退院時リハビリテーション指導料」を算定する場合
8.検査	B007			退院前訪問指導料	580	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員としておこなった対応について「退院前訪問指導料」を算定した場合
	D283			発達および知能検査	450/280/80	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員として「発達および知能検査」「人格検査」「認知機能検査およびその他の心理検査」を実施し算定する場合
	D284			人格検査	450/280/80	
	D285			認知機能検査およびその他の心理検査	450/280/80	
	D026			遺伝性腫瘍カウンセリング加算	1000	専従・専任・兼任のがん相談支援センター相談員としておこなった対応について「遺伝性腫瘍カウンセリング加算」を算定する場合

参考URL <http://shirobon.net/>

青字:2019/3/28更新
 赤字:2025/5/30更新提案